

アンモニアガス環境下評価

1. アンモニア燃焼環境下の腐食試験
2. 燃焼試験後の評価メニュー

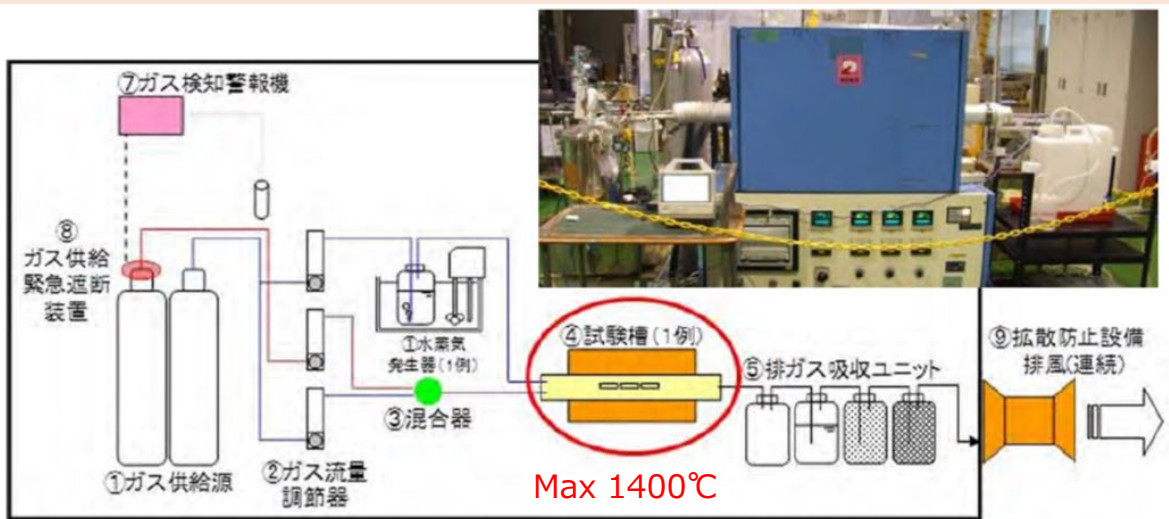
1. アンモニア燃焼環境下の腐食試験

アンモニア燃料を用いた、燃焼プロセスの燃焼環境下(混焼・専焼) に対応すべく100vol%アンモニアガスでの加熱試験を提供します。

また、従来からの石炭灰を用いたアルカリ溶融塩腐食、アンモニア分解ガスによる窒化等の反応、水素の吸収等を評価します。

- アンモニア混焼ガス成分を模擬したガスを連続通気試験
長時間(1000時間以上)の高温腐食試験が可能。
- 燃焼灰と共存した環境でも試験可能(灰塗布、埋没)
- アンモニアとはじめとする各種腐食性ガスを添加できます。
(**NH₃は100%まで可**、H₂S、NO_x、SO₂、HCl等)

※混合ガスの種類によって、混合比、濃度上限は変動します。ご相談ください。



2. 燃焼試験後の評価メニュー

- (1) 試験前後の耐食性、表面分析、断面分析等の材料評価
- (2) 窒化層の評価、窒化物、水素化物の定性・定量評価
- (3) 混合ガス高温曝露後の疲労き裂進展特性

この技術資料に関するお問い合わせは、最寄り営業担当に連絡いただくか、もしくは弊社問合せ窓口までお知らせください。
mailto:inquiry_eigy@kki.kobelco.com